

安楽寺だより 第55号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話: 03-3451-1509 FAX: 03-3798-2238

発行者: 藤澤 克己(安楽寺住職) ホームページ: <http://www.anraku-ji.org/>

(安楽寺だよりは 1月・4月・7月・10月に発行します)

取り戻しつつある日常を大切に

みなさま、梅雨明け間近な今日この頃、いかがお過ごしでしょうか?地域によっては線状降水帯が発生し、大きな被害を受けている方々がいらっしゃいます。お見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスに^{ほんろう}翻弄された3年間でしたが、この5月ようやく節目を迎えました。感染症法上の位置付けが、2類相当から5類に移行されたからです。

濃厚接触者を追跡したり外出自粛を求めたりといった特別扱いがなくなり、普通の風邪やインフルエンザと同じように、症状があればお医者さんに診てもらい、治まるまでは静養するといった私たちの良識ある行動に委ねられる状況になりました。

スポーツや音楽イベントなどは昔と同じように声を出して楽しめるようになりました。地域の盆踊りや花火大会が復活するとニュースには心躍る思いがします。



気軽に外出して、人と会って飲食を共にしながら、他愛もないお喋りをする事が出来るようになって、しばらく失っていた何気ない日常をようやく取り戻しつつあることを実感できるようになりました。

以前は「当たり前」だったことが本当は「有り難い」ことだったと、むしろ感謝する気持ちが芽生えているのではないのでしょうか。せっかく取り戻した日常に感謝できる気持ちを大切にしたいものです。

《あれこれ抄》

▼夏の「安楽寺だより」をお届けします▼六月末にコロナに罹^り患^{かん}しご法事を変更していただくなどご迷惑をお掛けしました▼まだ少し咳が残っていますが症状は軽く、高齢の母にうつさずに済んだので安堵^{あんど}しています▼この夏も猛暑が予想され熱中症対策にエアコンを適度に使用するのはいいですが、冷たい飲み物などで身体を冷やし過ぎないように気をつけましょう▼「過ぎたるは猶及ばざるが如し」の格言の通りですね▼今年の参道のアジサイは花付きが今ひとつでした▼調べてみたところ水切れを起こしていた可能性が有ります▼以前は父が毎日のように水遣りしていたのを思い出しました▼来年の見事なアジサイを願って思いを新たに手入れするようにします

永代経法要をお勤めしました



今年も5月10日に安楽寺総永代経法要をお勤めしました。お荘厳を整え、久しぶりに芝組の僧侶にも出仕していただき賑々しい法要となりました。

連綿と受け継がれてきた過去帳を尊前にお供えし、先祖の方々により阿弥陀さまの教えが私たちに届けられていることの思いを確かにしました。

法要に先立ち、事前にお預かりした今は亡き大切な方々のお名前を読み上げ、『仏説阿弥陀経』を^{どくじゆ}読誦しました。



連綿と受け継がれてきた過去帳を尊前にお供えしました



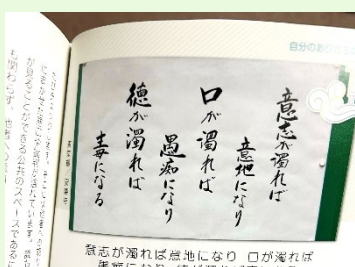
常連の方だけでなく、初めて参詣して下さった方もいらっしゃいました

【書籍紹介】

『お寺の掲示板入門』

(本願寺出版社・江田智昭著・税込1,100円)

著者は浄土真宗本願寺派の僧侶であり、近年インターネットで話題になっている「輝け！お寺の掲示板大賞」という企画の発案者です。その著者が厳選した掲示板のメッセージを仏教の視点からわかりやすく解説している一冊です。お寺の掲示板に込められた思いや工夫の数々について面白い読み物になっています。



安楽寺の掲示板も取り上げてもらいました

安楽寺の掲示板から2点を取り上げてもらいました。

「意志が濁れば意地になり 口が濁れば愚痴になり、..」

「負けたことがあるというのが いつか大きな財産になる」

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年 慶讃法要にお参りしてきました

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年 慶讃法要という記念となる法要が京都本願寺で勤修されました。親鸞聖人の生誕850年、また浄土真宗の根本聖典である『教行信証』が著述されてから800年という節目を迎え、その功績とご恩を慶び讃える仏事です。

4月11日から1泊2日で芝組の団体参拝があり、安楽寺からは住職を含めて6名でお参りしてきました。



法要は新制御本典作法という新しい節の正信偈のお勤めでした。まだ慣れていないのですが、リズム感があって親しみやすいお勤めですので、いずれお披露目できればと思います。

法要翌日は、得度の地青蓮院や百日参籠の地六角堂など、親鸞聖人ゆかりの地を訪ねることができ、実り多い団体参拝になりました。

築地本願寺での帰敬式

帰敬式(ききょうしき)とは、浄土真宗の教えに生きていくことを誓う大切な儀式で「法名」をいただくことができます。

「法名」は必ずしも故人に付けられる名前ではありません。仏弟子であることを表す名前ですので、帰敬式を受けることで生前に法名をいただくことができます。

この度、藤野裕子さんが築地本願寺での帰敬式を受式し、法名を受け取られました。「自分の法名を知りたかった」というのがそもそものきっかけだったそうで、受式後には「思っていた以上に厳かな儀式で驚いたけれど式に出られて良かった」との感想を聞かせてくださいました。



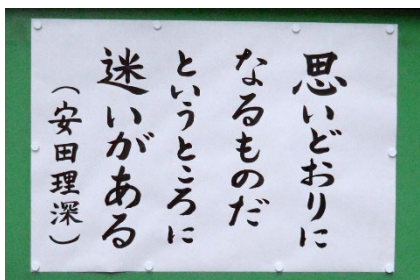
築地本願寺本堂の阿弥陀さまの前で

生前に法名をいただく場合は、帰敬式でご門主から授与していただきます。ただし、実際には内願といって、その方に相応しい法名を住職が考え、事前に申請させていただくようにしています。

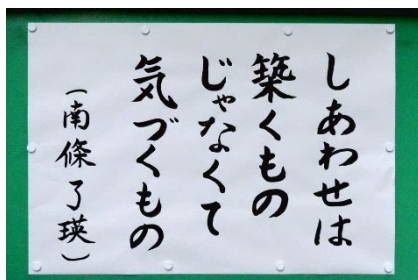
「生きている間に法名をいただきたい」と希望される方は住職までご連絡ください。

月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

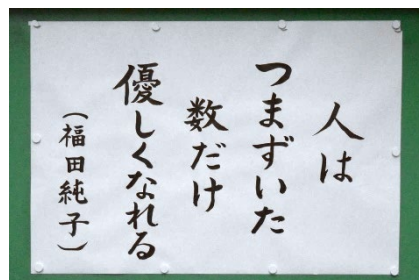
お寺の入り口に、その時々のお寺の言葉を掲げています。



2023 年 5 月



2023 年 6 月



2023 年 7 月

スズムシ&ヴィオラコンサート/クリスタルボウル



昨年のコンサートの様子

スズムシの音色とともに演奏を楽しむ会を開催します。

日時： **2023 年 8 月 19 日(土)16:00～** ※ヴィオラコンサート
2023 年 8 月 26 日(土)16:00～ ※クリスタルボウルの会

主催： 萩原 薫 氏 (ヴィオラ奏者、クリスタルボウル奏者)

参加費： 3,000 円 (当日、主催者に直接お支払いください)

定員： 20 名程度 **★参加希望者は住職までご連絡ください**



スズムシお分けします

安楽寺ではスズムシを飼育しています。今年もたくさんふか孵化しましたので 8 月中旬から美しい鳴き声を聞かせてくれることと期待しています。

ご希望の方にスズムシをお分けします！

今はまだ小さいスズムシが脱皮を繰り返して成虫になり、やがて涼しげな声で鳴き始める姿を観察しませんか？お子さんお孫さんの夏休みの自由研究にどうぞ！

築地本願寺で「国際ヨガデー」のイベント



6 月 21 日にインド大使館主催の第 9 回「国際ヨガの日」イベントが築地本願寺を会場に開催されました。住職も朝 7 時から多くの参加者と一緒にヨガを楽しみました。

「定例法話会」の今後の予定 (毎月**第 3 日曜日**午後 2 時～)

伝道掲示板の言葉をもとにお話させていただきます。いつでもご参加ください。

7 月 16 日(日) 8 月 20 日(日) 9 月 17 日(日)

※7 月の法話会は**合同孟蘭盆会法要**を兼ねます